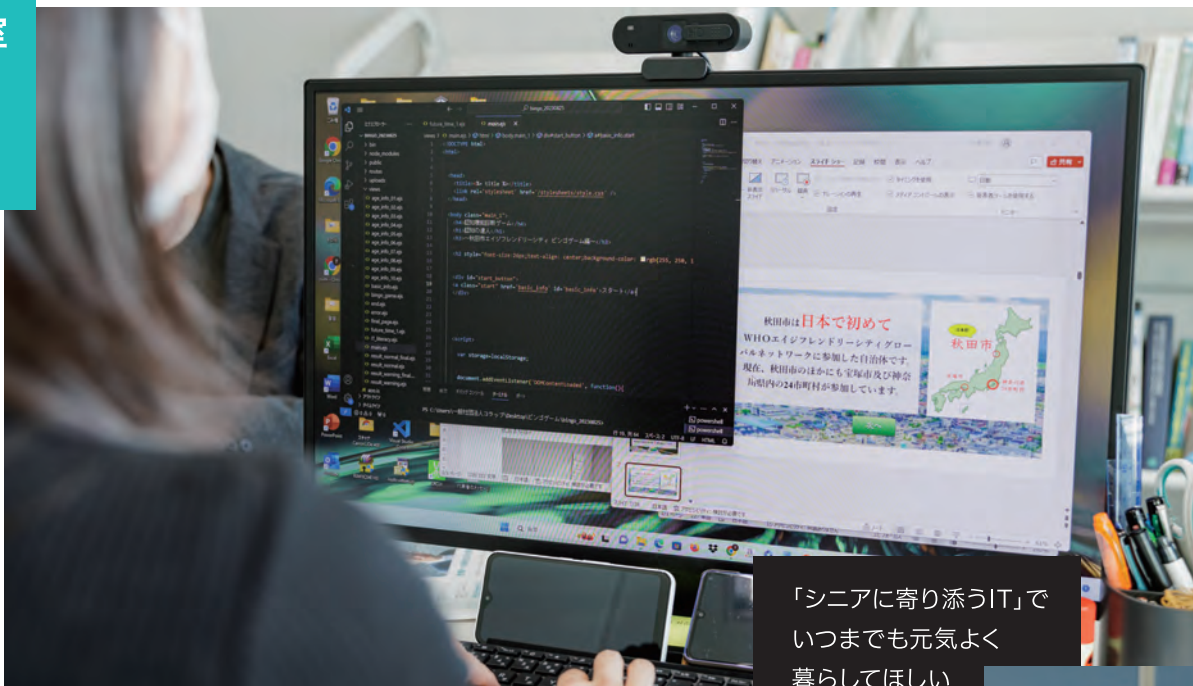


創業支援室

一般社団法人
コラップ

認知症を未然に防ごう
認知機能をトレーニングし
強化するサポート事業



「シニアに寄り添うIT」で
いつまでも元気に
暮らしてほしい

注意喚起や啓蒙ではない、具体的な方策を

一般社団法人コラップは令和4年7月に設立したばかり。代表理事の渡部諭さんは、今年3月まで秋田県立大学総合科学教育研究センターで教授を務めていた。

「私たちの設立の目的は『高齢者の生活の質の向上』です。同様の団体は多くありますが、私たちはそれをITのチカラを使うところに特徴があります」。

平成29年に『高齢者の詐欺被害を防ぐしなやかな地域連携モデルの研究開発』というプロジェクトに参画し、特殊詐欺被害に遭いやすい度合いを判定するアプリ開発に携わりました。注意や啓蒙する活動は警察や自治体をはじめ、多くのところで心構えを周知するに留まっているという。

「これまでの研究的な知見を活かし、詐欺の防止、ひいては認知機能の維持や改善をITのチカラを活用して行っていきたいと考えています」と、渡部さんは法人設立のきっかけを教えてくださいました。

第一歩はアプリの開発と、普及を目指す

秋田市はエイジフレンドリーシティに加盟しており、年に1度記念のイベントが開催されている。コラップでは今年8月に開催された「いきいきエイジの日2023」でイベントに初参加。イベントに向けて理事の鈴木さんがデジタルビンゴゲームを開発し、会場でノートパソコン5台を使って来場者に参加してもらった。

ビンゴゲームは、事前にエイジフレンドリーに関する画面を見てもらい、その中から問題を出すことで、参加者の記憶や認知機能に関するデータを分析。終了後は、結果を基に渡部さんが個別相談を実施した。

昨今、テレビでは高齢者をターゲットにした、身体の機能をサポートする商品のCMが放映されているが、身体だけでなく脳の機能もとても大切だと渡部さんは訴える。

「今後は高齢者の健康寿命の一端を担う、認知機能の改善ができるアプリの開発を進めていき、普及させていきたい」と、今後の事業展開の意気込みを語ってくれた。



一般社団法人コラップ
代表理事
渡部 諭 Watanabe Satoshi

〒010-8572
秋田市山王3丁目1-1
秋田県庁 第二庁舎 3階 A-4
TEL:070-2370-2242
Mail:qolup314@gmail.com
https://qolup.wraptas.site/



ホームページ

活用事例
創業支援室

創業者や新事業分野進出を目指す企業に事務スペース(創業支援室)を提供するとともに、入居者が抱える様々な課題の解決をサポートします。

【お問い合わせ】
総合相談課
TEL. 018-860-5610



現在は創業支援室を活用し、オフィスを構える。よろず支援拠点を活用し、経理関係の相談なども日常的にしやすい環境だという。



「いきいきエイジの日2023」での様子。皆さんパソコンでゲームを楽しそうに体験していた。



今年度は県内3か所で「特殊詐欺被害者の心理学的特性及び意識下で起こる意図しない判断」について講演を行った。